



さまざまなものにふれて
 感触を楽しむ



暑い日が続く中、雨で窓を開けられない日も多いこの季節。かもめ組(と他のクラス)のお部屋では早くもエアコンが大活躍しています。晴れの日には散歩に出たり窓を開けたりして風の涼しさにふれ、雨の日にはエアコンで室温を快適に、と子どもたちが涼しく過ごせるよう使い分けていきたいと思います。水分補給や必要に応じての着替えなども引き続き行っていきますが、保護者の皆様もお仕事に集中するあまり水分補給などお忘れにならないようご注意ください。子どもでも大人でも、屋外でも室内でもなってしまうのが、熱中症の怖いところですね。

さて、梅雨のため散歩に出られない日も多かった前月ですが、4階のプレイルームや木の玩具コーナーなどいろいろな場所で遊ぶことができました。保育士から離れてはいはいしたり、また保育士の元へ戻ったり。木の玩具では車やネジなどいろいろな形のものに触れ、「これは何だろう...」という面持ちで握ったり舐めたりして感触を確かめていました。また、すすくひろばのお友達と一緒に遊ぶ日もありました。0歳児さんはまだ『お友達と遊ぶ』という感覚は少なく、玩具など物を使って遊ぶことを楽しむ時期です。しかし同じ場所で同じ玩具を使って遊ぶうちに、少しずつお友達の存在に気付いていく時期でもあります。そしていつも同じお友達だけではなく、見知らぬお友達とも関わりをもつことで、良い刺激になってくれたら嬉しいですね。

今月は天気次第ではありますが、水にふれて過ごす日があります。汗を流してさっぱりすると共に、水の心地よさや感触を味わってもらえればと思います。またその他にも、砂や泥、布や紙など、周りにはいろいろな感触のものがありますね。今までの生活の中でも自然と触れて遊んできたものもありますが、改めて触れる機会をつくり、さまざまな感触を楽しむことで指先の感覚などが育まれれば良いと考えています。

